

甲府市市民実感度調査
報 告 書

令和 5 年 12 月
甲 府 市

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 調査項目	1
5 調査結果を見る上での留意点	1
II 回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 居住地域	3
4 居住年数	4
5 職業	4
III 調査結果	5
1 実感度	5
(1) 単純集計	5
(2) 属性クロス集計	5
①性別	5
②年齢	6
③居住地域	6
④居住年数	7
⑤職業	7
⑥居留意向1	8
⑦居留意向2	8
2 施策・基本構想の推進の区分における実感度	9
(1) 実感度の順位表	9
(2) 実感度の回答割合【実感度の高い順】	11
IV まとめ	12
1 施策・基本構想の推進の区分における実感度	12
(1) 実感度の順位表	12
(2) 実感度の回答割合【実感度の高い順】	12
2 市民実感度調査の活用方法	12
3 自由意見等	13
(1) 「問Ⅱ 今後も甲府市に住みたいと思いますか」における「機会があれば市外へ転居したい」を選んだ主な理由	13
(2) 市政に対するご意見、ご提案など（実感度の高い順）	13

I 調査概要

1 調査の目的

「第六次甲府市総合計画」に位置づけられた37の施策及び基本構想の推進における4つの方針に関し、施策を実施した結果「市民の実感度がどう変化したのか」を把握し、市政運営の基礎資料とするため、次のとおり市民実感度調査を実施しました。

2 調査設計

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) 調査地域 | 甲府市全域 |
| (2) 調査対象 | 令和5年9月1日現在、甲府市在住の18歳以上の男女 |
| (3) 調査対象者数 | 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳登録者から無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配付・インターネット回答又は郵送回答（無記名） |
| (6) 調査期間 | 令和5年10月13日～11月13日 |

3 回収結果

- | | |
|---------|-------|
| (1) 回収数 | 886人 |
| (2) 回収率 | 44.3% |

4 調査項目

- (1) 回答者の基本情報（性別・年齢・居住地域・居住年数・職業）
- (2) 「第六次甲府市総合計画」の施策の大綱に位置づけられた37の施策及び基本構想の推進における4つの方針について42の設問
※施策の中で「農業・林業の振興」は農業と林業の設問に分けています。
- (3) 甲府の住みやすさと今後の甲府市への居住希望について
- (4) 市政に対するご意見、ご提案、ご感想（自由記入）

5 調査結果を見る上での留意点

- (1) 本文や図表の選択肢の言葉は、短縮している場合があります。
- (2) 実感度は、「そう思う」＝4点、「ややそう思う」＝3点、「あまりそう思わない」＝2点、「そう思わない」＝1点を設問項目ごとに合計し、有効回答数で除した平均値で数値化しています。
- (3) 本調査は、調査対象となる母集団（18歳以上の全ての甲府市民）から一部を無作為抽出した「標本調査」であるため、調査における回答比率等は、母集団との間に標本誤差が生じることがあります。

統計学的に計算した今回の標本誤差は次のとおりです。

例えば、ある質問の回答者数が 800 のうち、「ふつう」と答えた方が 50%であった場合、誤差の範囲は最大でも±3.46%以内、「満足」と答えた方が 20%であった場合、±2.76%以内の誤差であると考えられます。

回答比率 p 回答者 n	回答比率				
	90% or 10%程度	80% or 20%程度	70% or 30%程度	60% or 40%程度	50% 程度
100	5.88%	7.84%	8.98%	9.60%	9.80%
300	3.39%	4.52%	5.18%	5.54%	5.65%
400	2.94%	3.91%	4.49%	4.79%	4.89%
500	2.63%	3.50%	4.01%	4.29%	4.38%
700	2.22%	2.96%	3.39%	3.62%	3.70%
800	2.07%	2.76%	3.17%	3.39%	3.46%
900	1.95%	2.61%	2.99%	3.19%	3.26%

N=母集団数 159,887 人

n=回答者数

p=回答比率

※令和 5 年 9 月 1 日現在

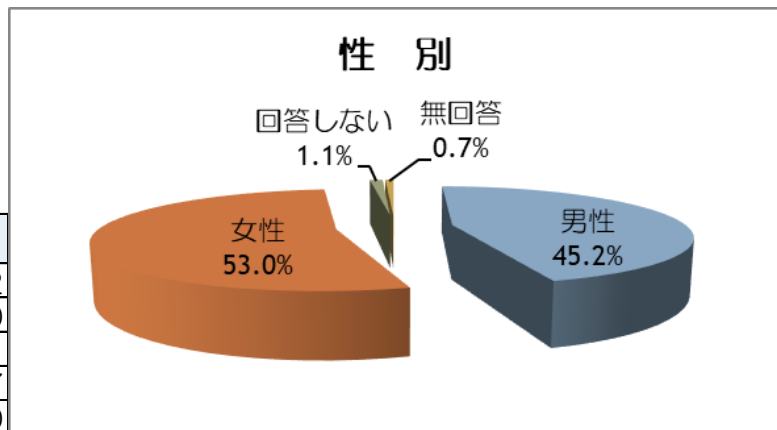
(18 歳以上)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

II 回答者の属性

1 性別

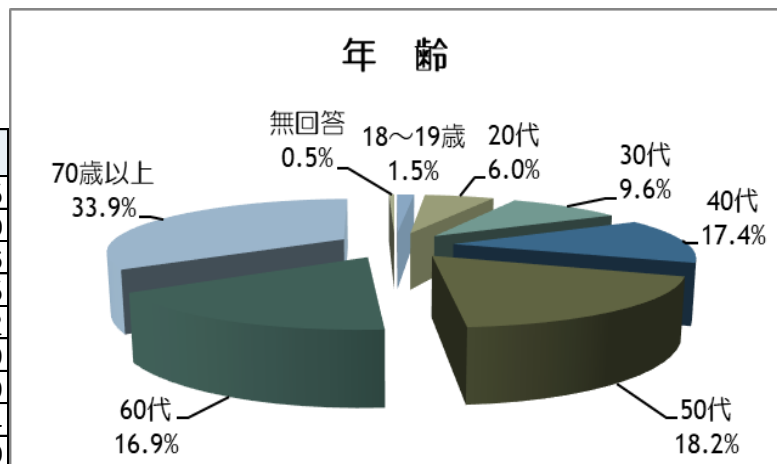
性別	回答数	回答割合%
男性	400	45.2
女性	470	53.0
回答しない	10	1.1
無回答	6	0.7
合計	886	100.0



「女性」が53.0%となっており、「男性」の45.2%、「回答しない」の1.1%を上回っています。

2 年齢

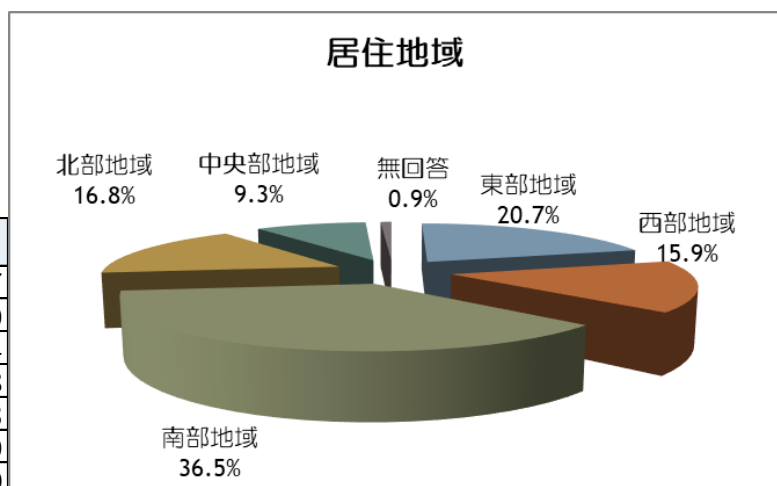
年齢	回答数	回答割合%
18～19歳	13	1.5
20代	53	6.0
30代	85	9.6
40代	120	13.5
50代	161	18.2
60代	150	16.9
70歳以上	300	33.9
無回答	4	0.4
合計	886	100.0



「70歳以上」(33.9%)が最も多く、次いで「50代」(18.2%)、「60代」(16.9%)となっています。

3 居住地

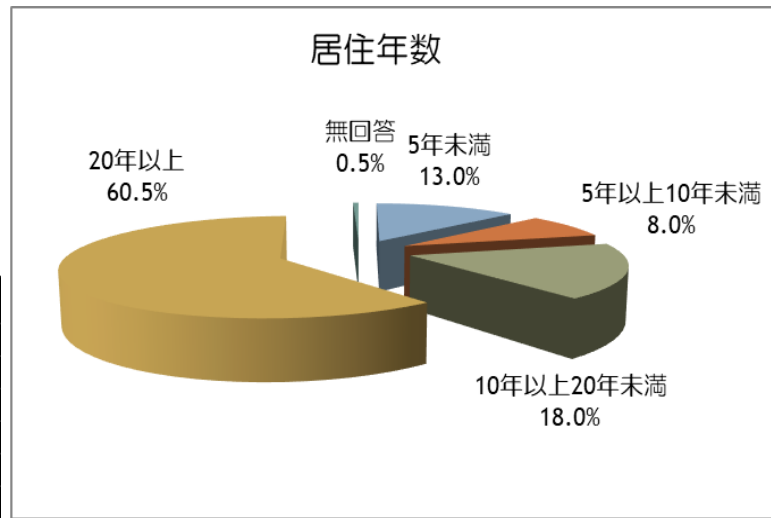
地域	回答数	回答割合%
東部地域	183	20.7
西部地域	141	15.9
南部地域	323	36.4
北部地域	149	16.8
中央部地域	82	9.3
無回答	8	0.9
合計	886	100.0



「南部地域」(36.4%)が最も多く、次いで「東部地域」(20.7%)となっています。

4 居住年数

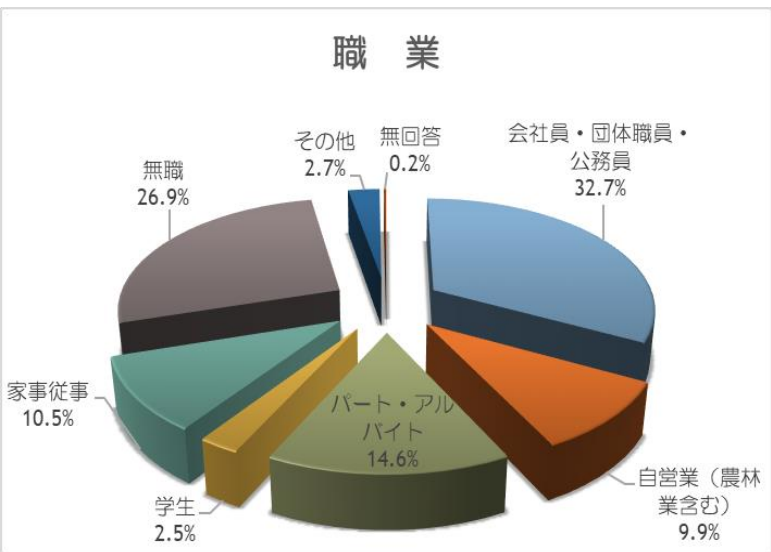
居住年数	回答数	回答割合%
5年未満	115	13.0
5年以上10年未満	71	8.0
10年以上20年未満	160	18.0
20年以上	536	60.5
無回答	4	0.5
合計	886	100.0



「20 年以上」（60.5%）が最も多く、次いで「10 年以上 20 年未満」（18.0%）となっています。

5 職業

職業	回答数	回答割合%
会社員・団体職員・公務員	290	32.7
自営業（農林業含む）	88	9.9
パート・アルバイト	129	14.6
学生	22	2.5
家事従事	93	10.5
無職	238	26.9
その他	24	2.7
無回答	2	0.2
合計	886	100.0



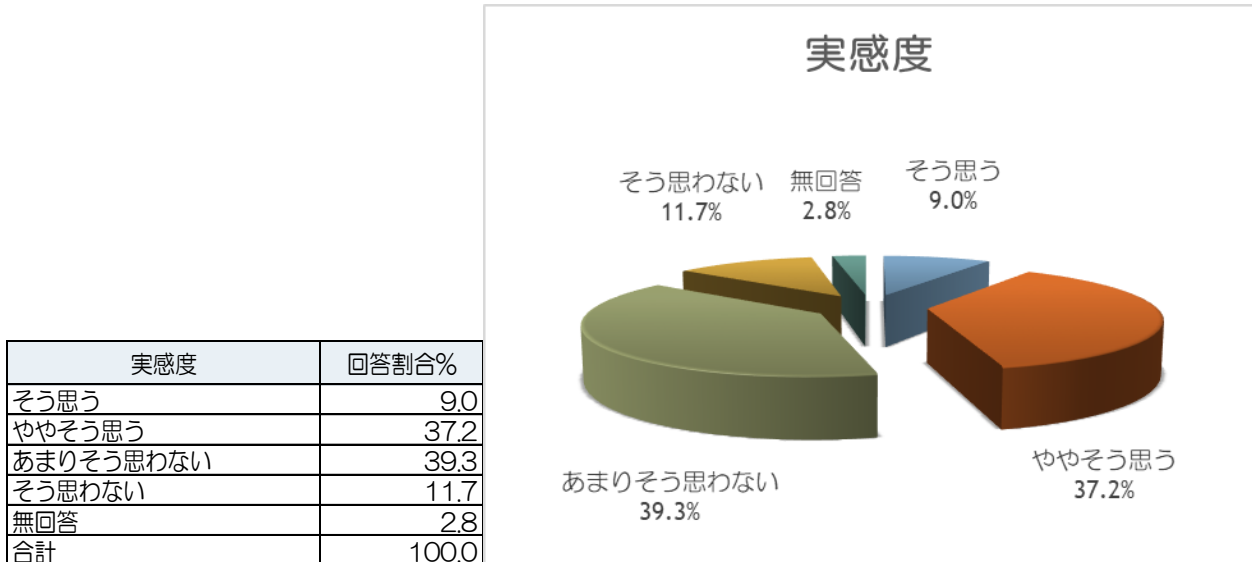
「会社員・団体職員・公務員」（32.7%）が最も多く、次いで「無職」（26.9%）、「パート・アルバイト」（14.6%）となっています。

Ⅲ 調査結果

1 実感度

甲府市の取り組みについて、42 の設問に対する実感度を伺いました。

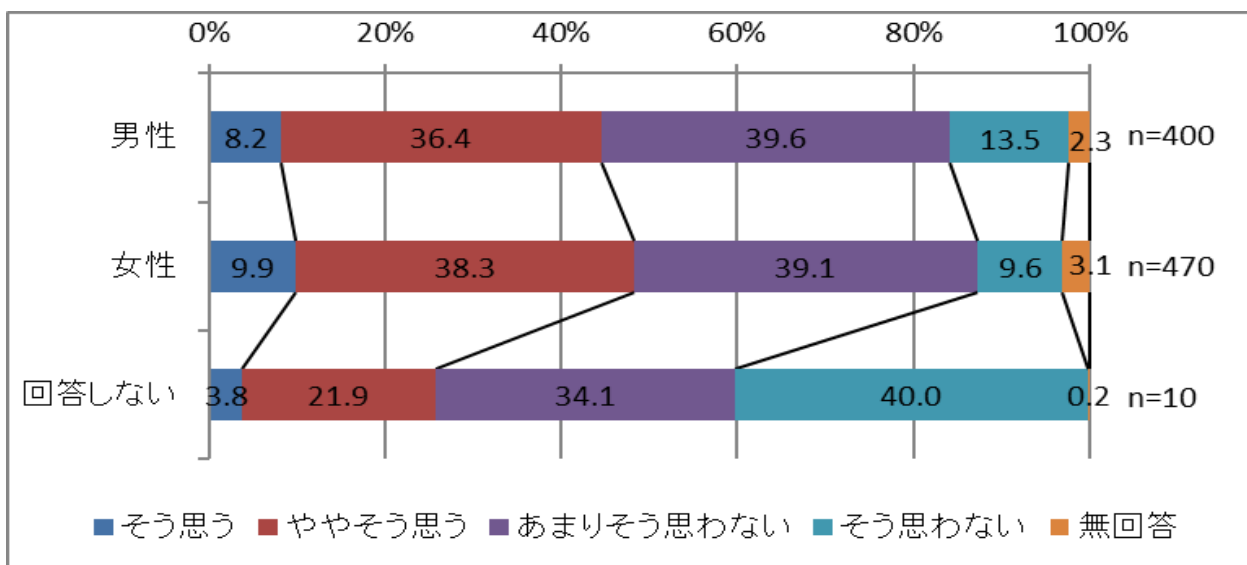
(1) 総計（回答者数n=886）



「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『実感している層』（以下同じ）の割合は46.2%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『実感していない層』（以下同じ）の割合は51.0%となっています。

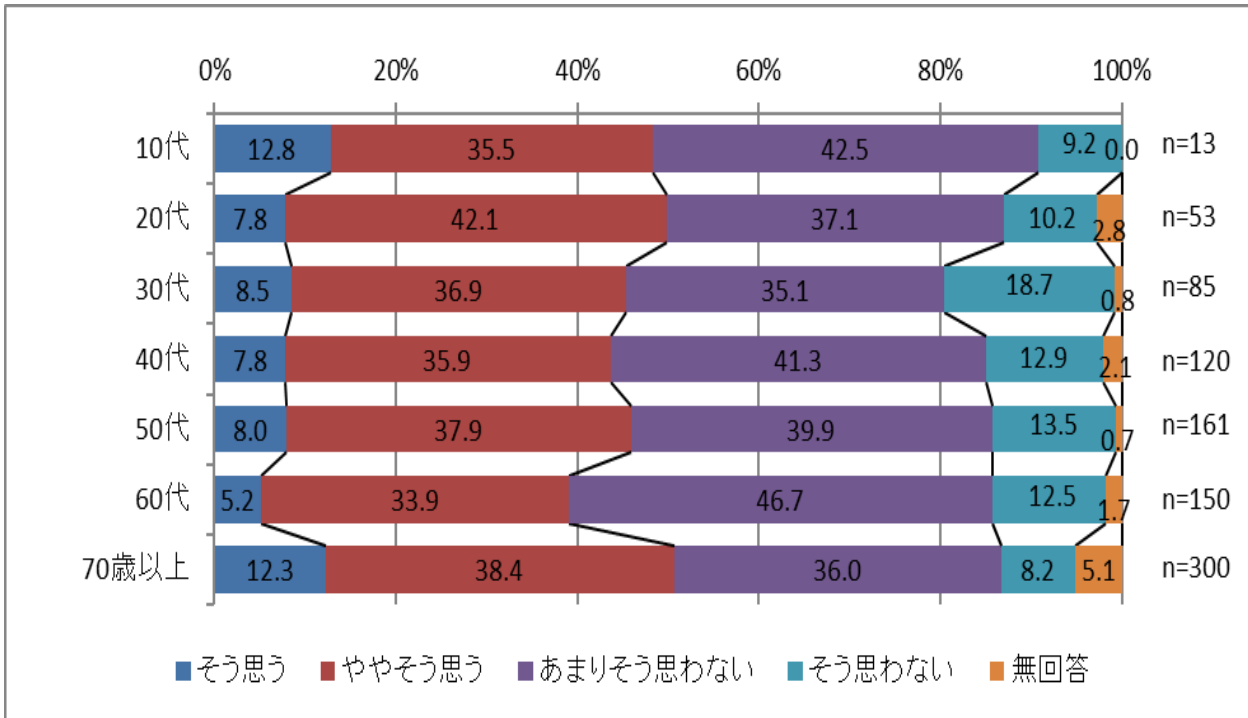
(2) 属性クロス集計

①性別（回答者数n=880）



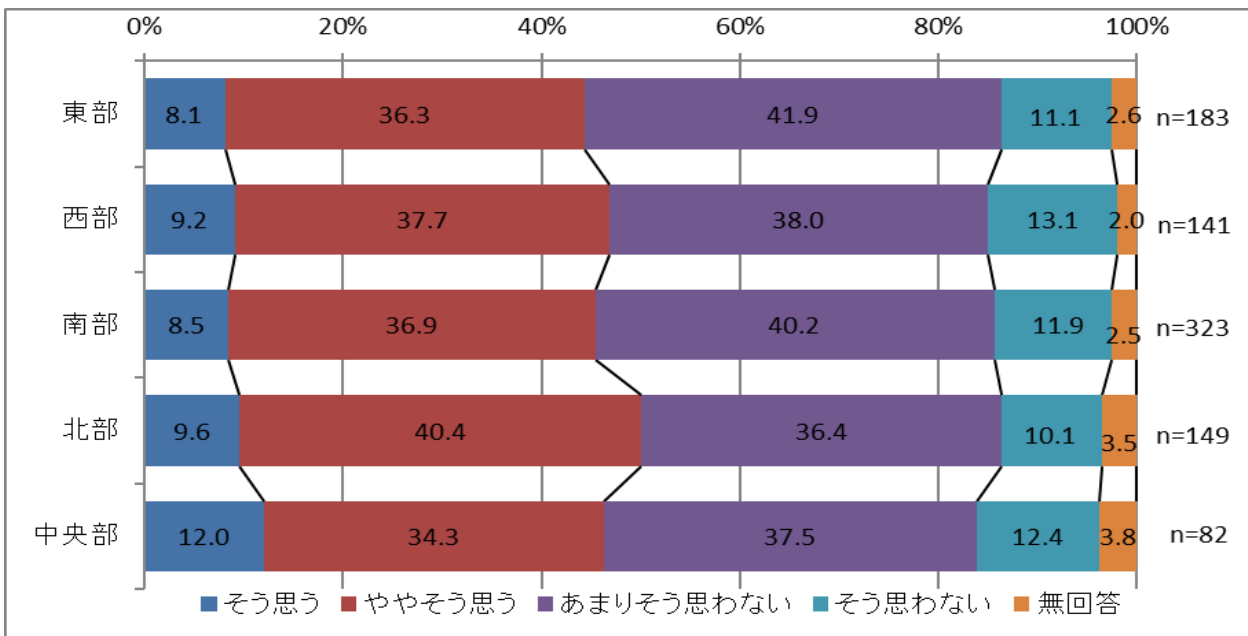
「女性」の『実感している層』の割合は48.2%であり、「男性」の44.6%、「回答しない」の25.7%よりも高くなっています。

②年齢（回答者数n=882）



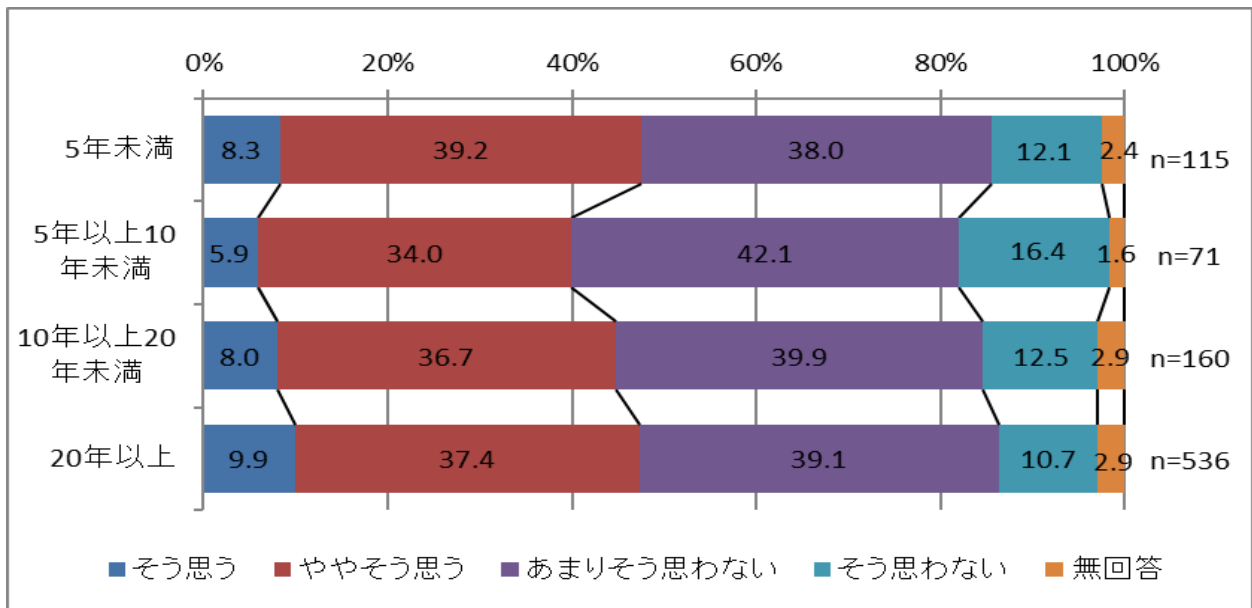
『実感している層』の割合は「70歳以上」（50.7%）が最も高く、次いで「20代」（49.9%）となっています。

③居住地（回答者数n=878）



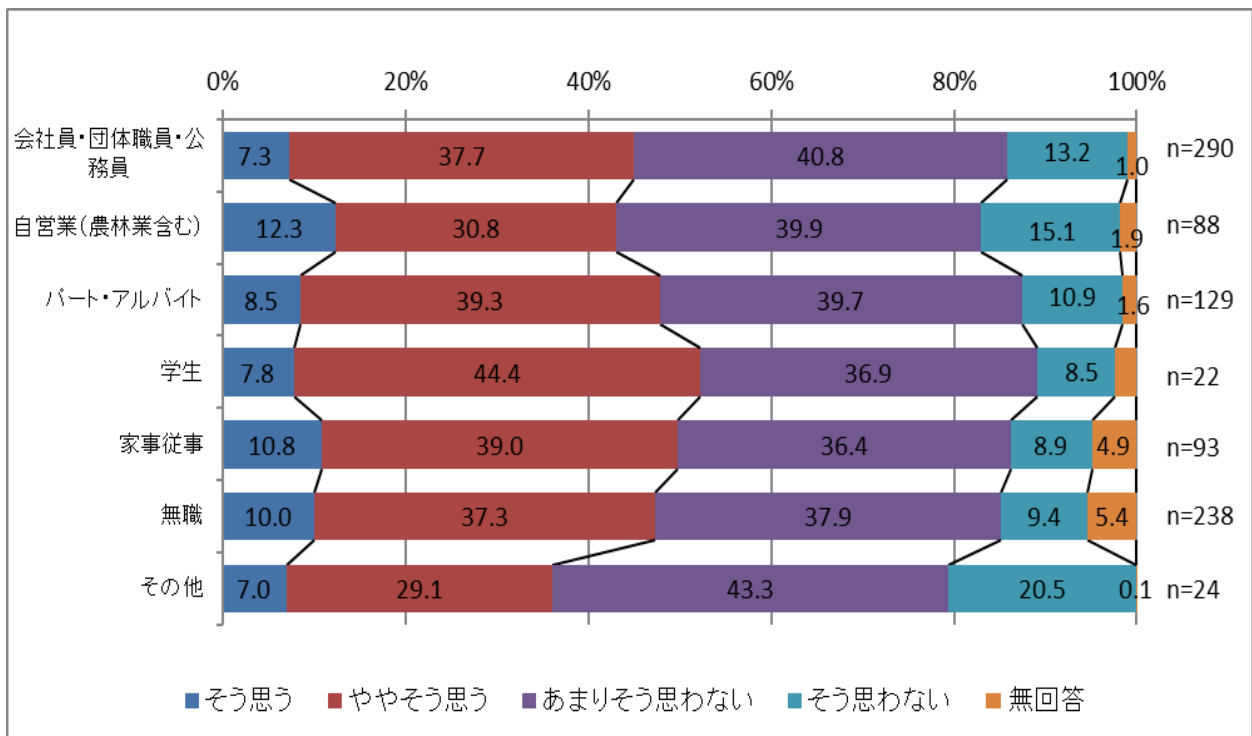
『実感している層』の割合は「北部地域」（50.0%）が最も高く、次いで「西部地域」（46.9%）となっています。

④居住年数（回答者数n=882）



『実感している層』の割合は「5年未満」（47.5%）が最も高く、次いで「20年以上」（47.3%）となっています。

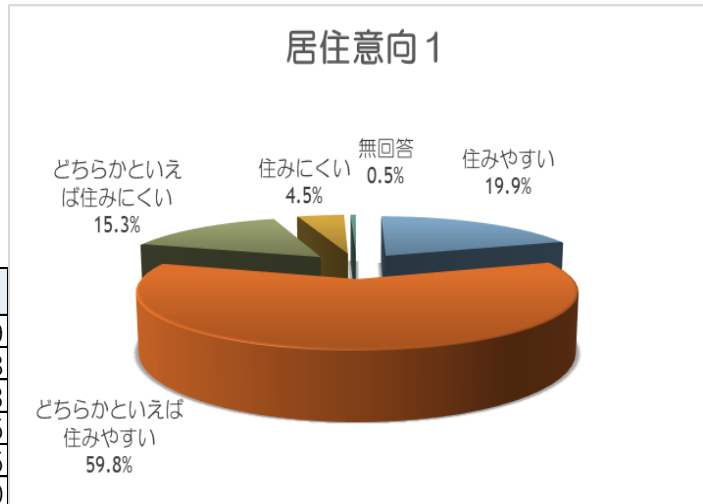
⑤職業（回答者数n=884）



『実感している層』の割合は「学生」（52.2%）が最も高く、次いで「家事従事」（49.8%）、「パート・アルバイト」（47.8%）となっています。

⑥居住意向1（あなたにとって、甲府市は住みやすいまちですか）

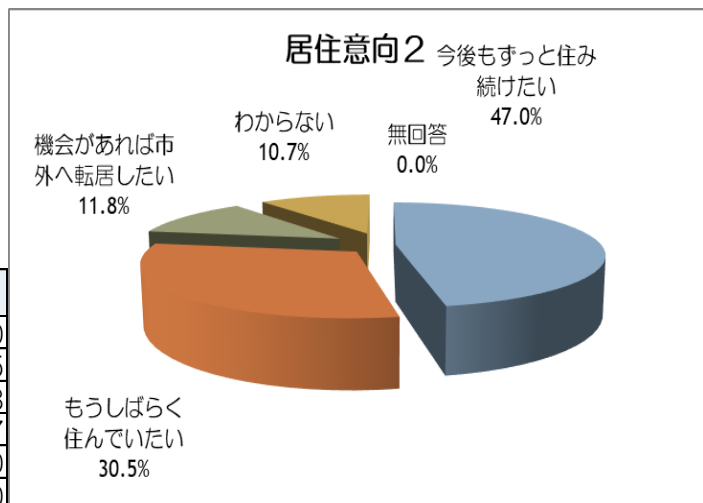
居住意向1	回答数	回答割合%
住みやすい	176	19.9
どちらかといえば住みやすい	530	59.8
どちらかといえば住みにくい	136	15.3
住みにくい	40	4.5
無回答	4	0.5
合計	886	100.0



「どちらかといえば住みやすい」（59.8%）が最も多く、次いで「住みやすい」（19.9%）となっており、合わせて79.7%となっています。

⑦居住意向2（今後も甲府市に住みたいと思いますか）

今後も住みたいか	回答数	回答割合%
今後もずっと住み続けたい	416	47.0
もうしばらく住んでいたい	270	30.5
機会があれば市外へ転居したい	105	11.8
わからない	95	10.7
無回答	0	0.0
合計	886	100.0



「今後もずっと住み続けたい」（47.0%）が最も多く、次いで「もうしばらく住んでいたい」（30.5%）となっており、合わせて77.5%となっています。

2 施策・基本構想の推進の区分における実感度

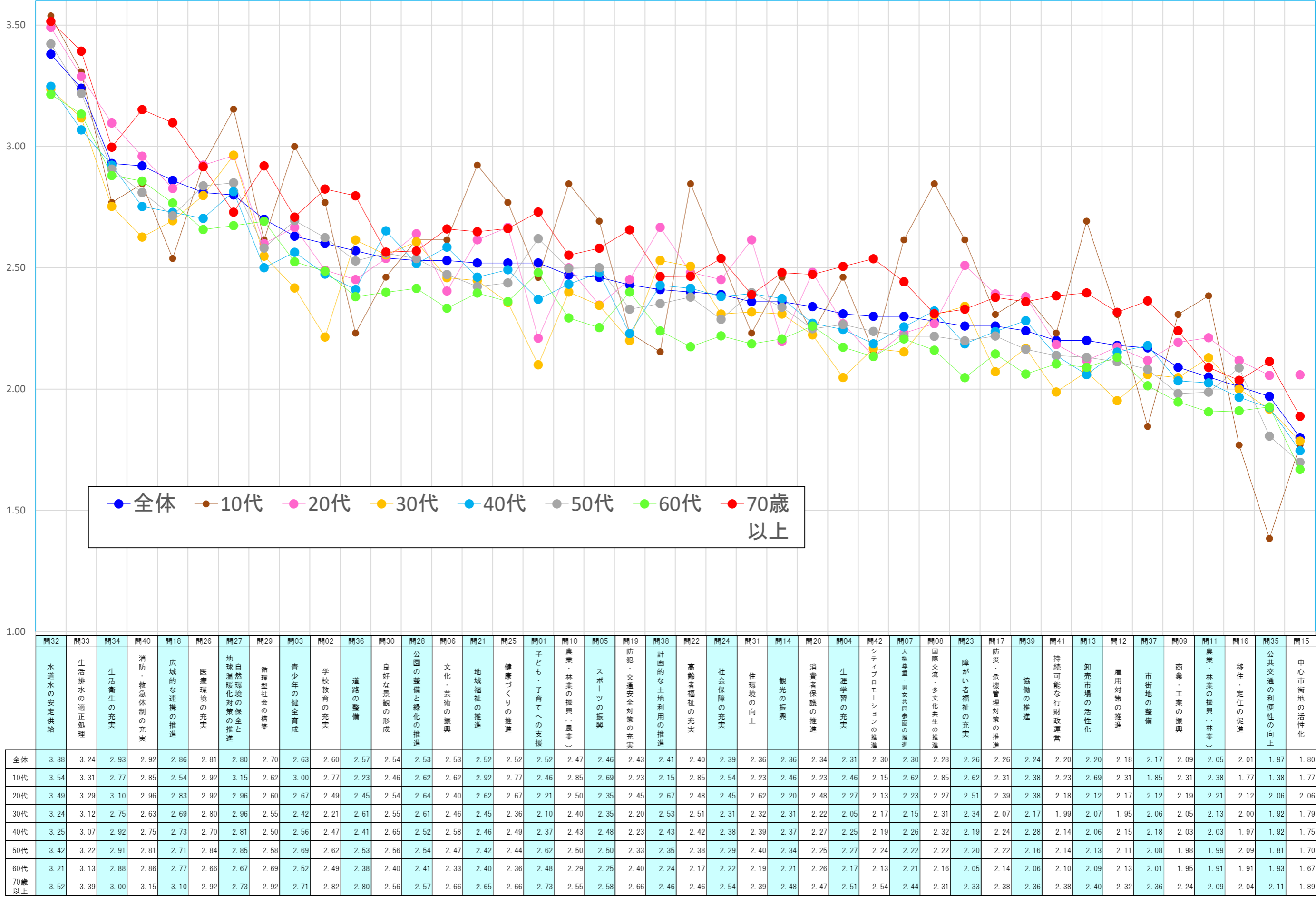
(1) 実感度の順位表

「第六次甲府市総合計画」の施策ごとに、「実感度」を伺いました。「実感度」は、それぞれの回答を4段階で数値化し（「そう思う」を4点とし、以下1点ずつ減じ「そう思わない」を1点と換算）、設問項目ごとの合計を有効回答数で除した平均値で表しています。

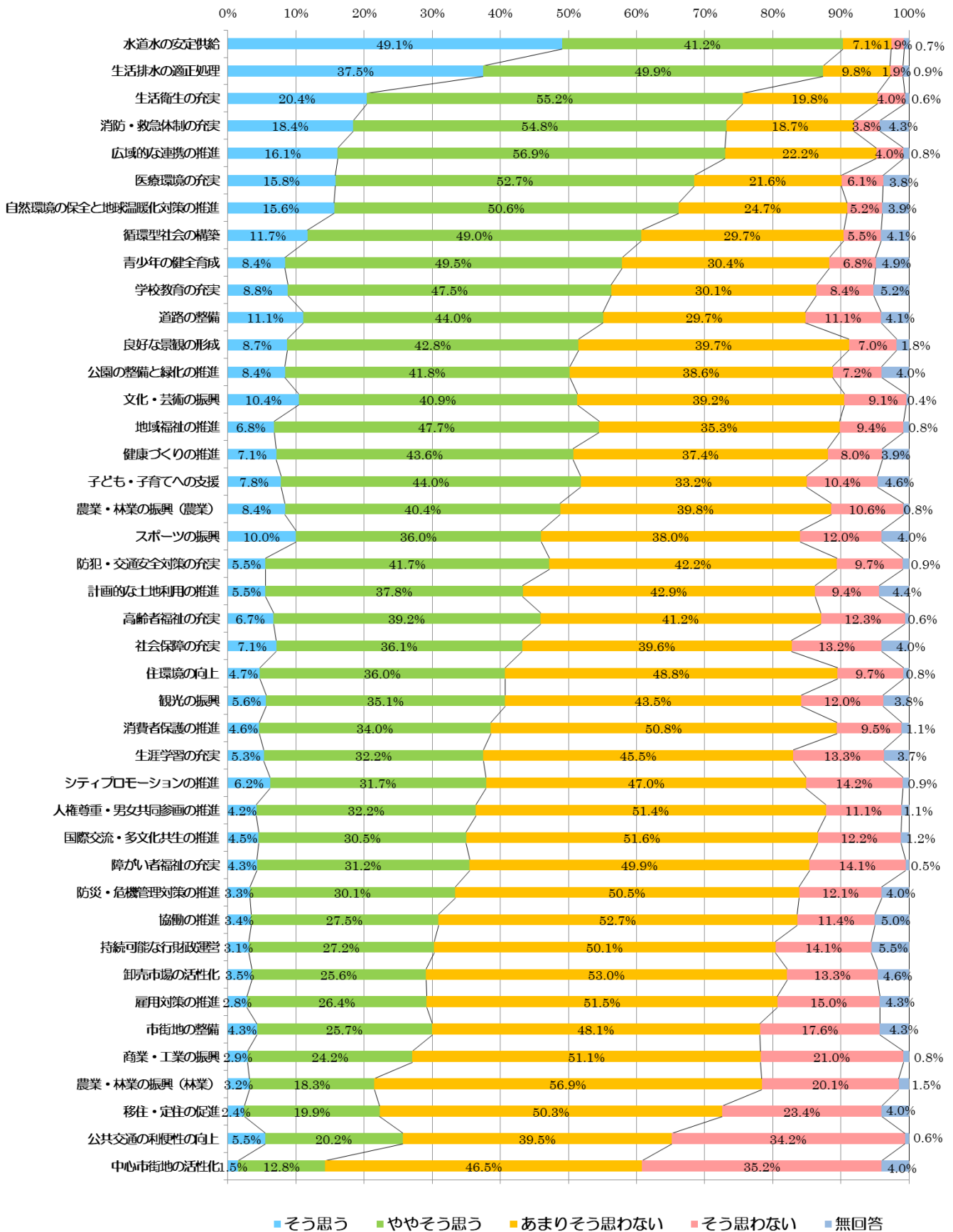
ア. 全体

順位	設問	施策・基本構想の推進 (農業・林業の振興は分割)	市民 実感度
1	安全でおいしい水が安定的に供給されている	水道水の安定供給	3.38
2	公共下水道の整備などにより、生活排水が適正に処理されている	生活排水の適正処理	3.24
3	し尿の適正処理や動物の適正飼育などが図られ、良好な衛生環境が保持されている	生活衛生の充実	2.93
4	消防・救急体制が充実している	消防・救急体制の充実	2.92
5	消防やごみ処理などの広域的な行政が、効率的・効果的に行われている	広域的な連携の推進	2.86
6	必要な時に適切に医療を受けることができる環境が整っている	医療環境の充実	2.81
7	豊かな自然環境の保全が図られている	自然環境の保全と地球温暖化対策の推進	2.80
8	ごみの減量化・資源化などにより、環境への負担の低減が図られている	循環型社会の構築	2.70
9	地域の青少年が健全に育成されている	青少年の健全育成	2.63
10	学校の教育内容や教育環境が充実している	学校教育の充実	2.60
11	道路の整備が進められている	道路の整備	2.57
12	自然、歴史や文化を生かした美しく風格のある景観の形成が進められている	良好な景観の形成	2.54
13	市民生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな環境づくりが進められている	公園の整備と緑化の推進	2.53
14	文化・芸術に親しむことができる環境が整っている	文化・芸術の振興	2.53
15	市民が互いに思いやり、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境が整っている	地域福祉の推進	2.52
16	健康づくりに向けた支援、予防保健の充実により、健やかに暮らすことができる環境が整っている	健康づくりの推進	2.52
17	子ども・子育てへの支援が充実している	子ども・子育てへの支援	2.52
18	農産物を安定して供給することのできる農業の振興が図られている	農業・林業の振興（農業）	2.47
19	生涯にわたり、身近な場所でスポーツに親しむことができる環境が整っている	スポーツの振興	2.46
20	犯罪や交通事故による被害の未然防止対策の充実が図られている	防犯・交通安全対策の充実	2.43
21	自然環境と都市環境の調和する秩序あるまちづくりが進められている	計画的な土地利用の推進	2.41
22	高齢者が健やかにいきいきと暮らすことができる環境が整っている	高齢者福祉の充実	2.40
23	生活に困窮する人への対策や国民健康保険制度・介護保険制度等、社会保障の充実が図られている	社会保障の充実	2.39
24	耐震化の推進などにより、安全で良好な住環境が確保されている	住環境の向上	2.36
25	多くの人々が訪れ交流する観光のまちづくりが進められている	観光の振興	2.36
26	消費者被害の未然防止や救済が図られている	消費者保護の推進	2.34
27	生涯にわたり学び続け、楽しみや生きがいを持つことができる環境が整っている	生涯学習の充実	2.31
28	甲府の魅力を外に向けて効果的に情報発信されている	シティプロモーションの推進	2.30
29	お互いを理解しながら個人が尊重される意識の醸成や男女共同参画社会の形成に向けた環境づくりが進められている	人権尊重・男女共同参画の推進	2.30
30	国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められている	国際交流・多文化共生の推進	2.28
31	障がいのある人が安心して暮らすことができる環境が整っている	障がい者福祉の充実	2.26
32	災害に強いまちづくりが進められている	防災・危機管理対策の推進	2.26
33	市民、NPO、事業者、行政などの協働によるまちづくりが進められている	協働の推進	2.24
34	高度化・多様化する行政ニーズに的確に対応し、最小の経費で最大の効果を挙げる行財政運営が行われている	持続可能な行財政運営	2.20
35	甲府市地方卸売市場の活性化が図られている	卸売市場の活性化	2.20
36	勤労者がいきいきと働くことのできる就労環境が整備されている	雇用対策の推進	2.18
37	都市としての便利さや暮らしやすさの向上が図られ、活気ある市街地の整備が進められている	市街地の整備	2.17
38	活力ある商業・工業の振興が図られている	商業・工業の振興	2.09
39	林業の活性化が図られている	農業・林業の振興（林業）	2.05
40	東京圏などからの移住・定住が進んでいる	移住・定住の促進	2.01
41	公共交通機関を利用して、円滑な移動ができる	公共交通の利便性の向上	1.97
42	中心市街地の賑わいが創出されている	中心市街地の活性化	1.80
	平均		2.45

イ. 年齢別



(2) 実感度の回答割合【実感度の高い順】



V まとめ

1 施策・基本構想の推進の区分における実感度

(1) 実感度の順位表

ア. 全体

実感度が高い施策・基本構想の推進は、「水道水の安定供給」、「生活排水の適正処理」、「生活衛生の充実」、「消防・救急体制の充実」、「広域的な連携の推進」の順となっており、生活に密着した施策で実感度が高い傾向が見られます。

実感度が低いのは、「中心市街地の活性化」、「公共交通の利便性の向上」、「移住・定住の促進」、「農業・林業の振興（林業）」、「商業・工業の振興」の順となっています。対象者が限定される施策については、全体的に実感度が低い傾向が見られます。

イ. 年齢別

年齢別の実感度を施策別に見ると、最も実感度が離れている施策は「公共交通の利便性の向上」で、実感度の高い70歳以上と、実感度の低い10代とでは0.73ポイントの差があります。

次に「国際交流・多文化共生の推進」では、実感度の高い10代と、実感度の低い60代で0.69ポイントの差、「高齢者福祉の充実」では、実感度の高い10代と、実感度の低い60代で0.68ポイントの差となっています。

(2) 実感度の回答割合【実感度の高い順】

『実感している層』の割合が、「水道水の安定供給」については90.3%、「生活排水の適正処理」は87.4%と、非常に高くなっています。

逆に『実感していない層』の割合が、「中心市街地の活性化」については81.7%、「農業・林業の振興（林業）」は77.0%と高くなっています。

2 市民実感度調査の活用方法

市民実感度調査の集計結果を施策担当部署にフィードバックし、施策評価指標の一つとして活用することにより、市民の実感度や回答の変化を検証する中で、今後の施策に反映させていただきます。

3 自由意見等

(1) 「問Ⅱ 今後も甲府市に住みたいと思いますか」における「機会があれば市外へ転居したい」を選んだ主な理由

- 公共交通が不便である。
- 中心市街地や駅前に活気がない。
- 子育て支援がより充実している所へ転居したい。
- 税金が高い。
- 仕事の選択肢が少ない。

(2) 市政に対するご意見、ご提案など（実感度の高い順）

「水道水の安定供給」について

- 水道水が安心して飲める。
- 水がおいしい。
- 水道料金が低い。

「生活排水の適正処理」について

- 下水道の完全普及を図って欲しい。

「生活衛生の充実」について

- 野良猫が多く、フン被害に困っている。
- 市役所周辺の鳥のフン被害が目立つので、なんとかして欲しい。

「医療環境の充実」について

- 医療費の負担が大きい。
- 急な体調不良により訪れた際は、紹介状がなくても受診させて欲しい。

「循環型社会の構築」について

- 資源ごみ・粗大ごみの回収頻度を増やして欲しい。
- ゴミステーションを充実させて欲しい。
- 生ごみ処理機の助成など、もっと制度の周知をした方がよい。
- プラスチック回収がとても助かっている。
- ごみの分別について、もっと具体的に指導して欲しい。

「青少年の健全育成」について

- 青少年の犯罪が増加・多様化しているので、教育を見直して欲しい。

「学校教育の充実」について

- 給食費を無償化して欲しい。
- 学校の備品について、環境整備を充実させて欲しい。

「道路の整備」について

- 自転車で通行する際、路面が荒れているところが多く危ないので整備して欲しい。
- 横断歩道や停止線など、白線が消えている・薄れている所が多いので点検して欲しい。
- 交通量の割に幅員が狭い道路が多い。
- 歩道の整備にもっと力を入れて欲しい。路面もボコボコしており雑草も多く、危ない。

「良好な景観の形成」について

- 自然豊かで素晴らしい土地だと思うが、それを活かした政策が足りないと思う。
- 造り込み過ぎず、そのままの状態を大切にしたい。
- 景観にそぐわない大きな看板は規制すべきだと思う。

「公園の整備と緑化の推進」について

- 最近移住してきたが、市街地に公園や緑が少ないと感じる。
- 気軽に散歩ができるような公園を作りたい。
- 市役所の敷地や建物内にもっと緑を取り入れてもらいたい。
- 遊具が充実した子どもが遊べる公園を作りたい。

「文化・芸術の振興」について

- 文化や芸術に触れるイベントなどの機会を増やしたい。
- 民間のカルチャーセンターなどともっと連携したらいいと思う。

「地域福祉の推進」について

- 移住して間もないが、行政の働きかけもあってか地域住民同士の交流が極めて良い。
- 各自治会に、老人への福祉活動に関する助言や指導を行い、より充実させて欲しい。
- 高齢者が気軽に運動ができる公園や施設などを各地区に整備して欲しい。

「健康づくりの推進」について

- 帯状疱疹ワクチン接種の助成を検討してもらいたい。
- 子どものインフルエンザ予防接種の助成を検討してもらいたい。

「子ども・子育てへの支援」について

- 子育て世帯に対する各種助成制度をもっと充実させて欲しい。
- 医療費助成制度の対象が18歳まで拡大され、大変助かっている。
- 教材費を無償化して欲しい。
- 子どもが遊べる施設が少ない。

「農業・林業の振興（農業）」について

- 点在する農地を積極的に活用できるようなシステムを構築して欲しい。

「スポーツの振興」について

- 子どもから高齢者まで親しみやすい、プールなどの施設を充実させて欲しい。
- 山梨県とも連携し、ヴァンフォーレ甲府の専用スタジアムを作りたい。
- 国際試合ができるくらいのスポーツ環境を整えて欲しい。

「防犯・交通安全対策の充実」について

- 子どもの防犯・交通安全対策が心配。学校周辺は道路が狭く、ガードレールもない。
- 幹線道路以外の車道の街灯を増やして欲しい。

「計画的な土地利用の推進」について

- 空き地が増えているのが気になる。うまく活用して欲しい。

「高齢者福祉の充実」について

- 老人福祉センターなど設備が整っており、それを充分利用できているので満足している。
- 高齢者が活躍できる場を、もっと提供していただきたい。

「社会保障の充実」について

- 介護保険料が高い。
- 介護施設の充実と人材確保を図って欲しい。

「住環境の向上」について

- 空き家対策にもっと力を入れていただきたい。
- 市営住宅が場所によって差があるので、整備して欲しい。

「観光の振興」について

- 昇仙峡など多くの観光資源があるため、それらをもっとPRしていった方がいい。
- 観光地づくりとして、単独の施設等を整備するだけでは難しいと思うので、道路や河川を整備する際にも観光視点を取り入れた方がいい。

「シティプロモーションの推進」について

- おいしい地元野菜や果物が多いので、県内外へもっとアピールした方がいい。
- 甲府に立ち寄りたくなるような魅力をもっと発信した方がいい。
- ホームページに「こんなことを目指して、こんなことを重点的にやっている」といったことが気軽に読める担当者ブログのようなページがあってもいいと思う。

「人権尊重・男女共同参画の推進」について

- 女性が就く職業の基本給が安く、ジェンダーギャップを感じる。

「国際交流・多文化共生の推進」について

- 海外の人が増えているようだが、地域で交流するような機会が少ないと思う。

「障がい者福祉の充実」について

- 障がいのある人も、障がいのない人と同じ生活ができるよう制度を充実させて欲しい。
- 市街地に陸橋があるが、車いすや身体の不自由な方には使えないのではないかな。
- 障がい者施設の環境整備を進めて欲しい。

「防災・危機管理対策の推進」について

- 災害時の避難場所に距離があるため、一時避難場所を増やす検討をしていただきたい。
- 中心市街地の老朽化に伴い、火災等の災害が起きた際の対応を考えて欲しい。

「協働の振興」について

- 自治会活動の負担軽減に取り組んで欲しい。

「持続可能な行財政運営」について

- 公共施設の老朽化が目立つので整備してほしい。
- 限られた予算だと思うが、効率よく財源を活用していただきたい。
- 他の市町と比べて、税金が高いと思う。

「雇用対策の推進」について

- 就職先の選択肢が少ない。
- 雇用先を増やすことが、人口の増加に直結すると思う。

「商業・工業の振興」について

- 企業誘致にもっと力を入れたら、県外からの交流人口も増えると思う。
- 若い世代の起業など、チャレンジを後押しして欲しい。
- 大型の商業施設が必要だと思う。

「移住・定住の促進」について

- 県外からの移住者支援について、もっとPRしていったほうがいいと思う。
- おいしい水や豊かな自然など、穏やかに生活できる「甲府らしさ」をもっとアピールすれば、甲府に住む人が増えると思う。

「公共交通の利便性の向上」について

- デマンドタクシーに期待している。
- 総合病院への通院がどの地区からもスムーズに行けるような路線整備を進めて欲しい。
- バスの本数が少なく、免許を持たない学生や高齢者など生活しづらい。
- リニア中央新幹線の早期開通を願う。

「中心市街地の活性化」について

- 甲府駅周辺の駐車場を増やしてほしい。
- 甲府駅周辺の徒歩圏内の活性化に力を入れたら、もっとまちが賑わうと思う。
- 中心街に無料駐車場を作れば、訪れる人が増えると思う。
- 中心街に若い世代の方の起業による出店を見て、頼もしく感じている。

「その他」

- 市政についてもっと自分から情報を得ていこうと思った。今回のアンケートで、これまであまり意識したことがないということに気づいた。
- 次回アンケートの際には「わからない」の回答を設けて欲しい。
- ごみ収集車の運転マナーが悪い。
- 物価高騰等で生活が苦しいのはみんな一緒なので、非課税世帯や子育て世帯だけでなく全世帯を対象とした支援策を展開して欲しい。